

処理方式の選定

1 検討会議(平成31年3月22日開催)における構成市町村の意見と組合の対応

(1) 検討会議における構成市町村の意見

第4回有識者会議でいただいたご助言等を踏まえ、検討会議において構成市町村に今後の検討対象を2方式(ストーカ式及び流動床式)に選定することを提案いたしましたが、提示した資料は住民や議会等にご理解をいただく材料としては不十分であるとの意見がありました。

(2) 組合の対応

ストーカ式、流動床式のほか、構成市町村から環境政策としてより慎重な判断が望ましいとの意見が寄せられたコンバインド方式(ストーカ式 + メタン発酵方式)を含めた3方式について、より詳細な条件を設定のうえ、プラントメーカーに追加調査を依頼しています。

追加調査の内容

- ① 下記の条件を満たす建設費の算定
 - ア 循環型社会形成推進交付金の2分の1の交付率を満たすもの
 - イ 建設場所の浸水想定は、「5m以上」であること
- ② (ストーカ炉に関して) 1回の炉の立ち上げ・下げに要する燃料の量や1炉あたりの年間の立ち上げ・下げの回数の確認
- ③ ごみ処理に伴って回収可能なすべての熱量や売電可能電力量の算定

2 検討会議終了後に寄せられた構成市町村の意見等

構成市町村から一度持ち帰って検討したいとの声が寄せられたため、会議における意見集約は困難と判断し、会議終了後に改めて処理方式の選定についての意見を聴取しています。

構成市町村から寄せられた主な意見

【処理方式の選定】

- ・2つの処理方式に選定する明確な理由を説明してほしい
- ・コンバインド方式も今後の検討対象とすべき
- ・専門的な知見を持つ有識者の意見を重視すべき

【建設費】

- ・2つの建設候補地で建設費にどの程度の差が生じるのか

【評価方法】

- ・各評価項目の配点に重み付けを行うことも検討すべき